# 小矢部市剣道連盟会則

#### 第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、小矢部市剣道連盟と称する。

(目 的)

第2条 本会は、剣道の振興普及に努め、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」 との剣道理念の実践とともに会員相互の親睦を図り、社会人としてより一層の向上を目 指して研鑽することを目的とする。

## 第2章 事 業

(事業)

- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
  - (1) 各種剣道大会及び講習会
  - (2) 青少年に対する指導
  - (3) 功労者の表彰及び会員の慶弔
  - (4) その他本会の目的達成に必要な事業

# 第3章 会 員

(会員)

第4条 本会の会員は、小矢部市に在住又は勤務する社会人で、本会の趣旨に賛同する者とする。

## 第4章 役 員

(役 員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

会長1名理事若干名副会長若干名監事2名理事長1名

(選任・任務)

第6条 会長は、総会において推挙する。

会長は、本会を代表し、会務を統括する。

第7条 副会長は、総会の同意を得て会長が委嘱する。

副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。

第8条 理事長は、理事の互選とし、総会の同意を得て会長が委嘱する。

理事長は、会長の命を受け、会務の処理にあたる。

第9条 理事は、会員の互選とし、総会の同意を得て会長が委嘱する。

理事は、本会の会務を執行する。

第10条 監事は、会員の互選とし、総会の同意を得て会長が委嘱する。

監事は、他の役員を兼ねることはできない。

監事は、本会の事業執行状況及び会計を監査する。

第11条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

役員の辞任等による後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

役員は、任期満了後も後任者が就任するまで、その任務を行わなければならない。

# 第5章 名誉会長、顧問、相談役及び参与

#### (名誉会長等)

第12条 本会に、名誉会長、顧問、相談役及び参与を置くことができる。

- 第13条 名誉会長、顧問、相談役及び参与は、会長が役員会に諮ってこれを委嘱し、会長の諮問 に応じ助言する。
- 第14条 名誉会長の任期は終身とする。顧問、相談役及び参与の任期は第11条を準用する。
- 第15条 名誉会長、顧問、相談役及び参与は、総会及び役員会に出席して意見を述べることができる。

## 第6章 会 議

(総 会)

- 第16条 総会は、毎年1回春季に開催する。但し、必要に応じて臨時に開催することができる。 総会は、会長が招集し、会長がその議長となる。
- 第17条 総会は、次の事項を審議し、決定する。
  - (1) 本会の解散及び会則の改廃
  - (2) 予算及び決算
  - (3) 事業報告及び事業計画
  - (4) 役員の選出及び承認
  - (5) その他本会の目的達成に必要な事項
- 第18条 総会は、出席会員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(役員会)

- 第19条 役員会は、会長、副会長、理事長、理事、監事、事務局長をもって構成する。 役員会は、必要に応じて、理事長が招集し、理事長がその議長となる。
- 第20条 役員会は、本会の会務を審議する。

役員会は、総会を開催するいとまのない場合において、第17条の(1)を除く事項について審議し、決定することができる。この場合、これを次の総会に報告し、その承認を得るものとする。

第21条 役員会は、出席役員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

# 第7章 会 計

(会 計)

- 第22条 本会の経費は、次のものを以てこれに充てる。
  - (1) 会費
  - (2) 大会参加費
  - (3) 寄付金及び補助金
  - (4) その他の収入
- 第23条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第8章 事務局

(事務局)

- 第24条 本会の事務を処理するために、事務局を置く。
- 第25条 事務局長は、総会の同意を得て会長が委嘱する。 事務局長の任期は、第11条を準用する。
- 第26条 事務局長は、理事長の命を受けて事務処理にあたり、本会の総会及び役員会に出席し意見を述べることができる。
- 第27条 事務局には、本会の会則、会員名簿、会計簿、その他必要な帳簿を備えるものとする。

#### 附 則

- 1 本会則は、昭和49年4月1日から施行する。
- 2 昭和59年5月13日、総会において「小矢部市剣友会」を「小矢部市剣道連盟」に改称する。
- 3 平成26年4月12日改定する。